

# 日本賢人会議所

## 第1号

### 理事会および総会

理事会：（平成26年度・第1回）平成26年10月23日(木)9:00～11:30 於、中央区新橋  
議事：会員入会の承認、規定類の承認

（平成26年度・第2回）平成27年3月24日(火)10:00～12:00 於、台東区入谷  
議事：平成26年度事業及び決算報告承認、入会者承認、役員就・退任承認他

（平成26年度・第1回）平成27年5月12日(火)10:00～12:00 於、台東区入谷  
議事：平成27年度事業計画及び収支予算書(案)の承認他

総会：(第1回定時総会)平成27年6月9日(火)13:30～14:30 於、豊島区民センター

### 日本賢人会議所所在地

東京都港区芝浦2-14-13加瀬ビル161:6階  
TEL:03-6809-4950  
FAX:03-6809-4951  
[nippon@kenjinkaigisho.com](mailto:nippon@kenjinkaigisho.com)



皆様には、日本賢人会議所の設立以来、心温まるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年9月4日の設立総会以降、半年強の第1期(平成26年度)でしたが、各種イベント、委員会等にご参加頂き、又、数々のご提言・ご指導を賜り有難く、篤く御礼申し上げます。当会議所も第2期(平成27年度)に入り、皆様のご賛同・御参画を頂きながら事業も質量ともに活発に計画されて参りました。本会報も今年1月からプレ会報として、行事案内を中心に簡単な文書にて3号まで発行申し上げましたところ、お陰様にてご好評を頂き、6月9日の総会にて会報として第1号をお配りする運びとなりました。まだまだ内容は充分とは言えませんが、皆様のご指導を頂きながら、号を重ねるにつれ充実出来ればと願っております。何卒、忌憚ないご意見を賜り、皆様方との有力なコミュニケーションツールとなりますれば、誠に幸いに存じます。

### 賢人の日：5月4日 -第1回賢人式(6月9日)

昨年9月設立総会時にお配りしました日本賢人会議所案内パンフレットに記載の通り、5月4日(みどりの日)を「賢人の日」として定着させることを目指します。第1回賢人式をご案内通り6月9日(火)総会当日に開催致します。



## イベント

### 平成27年4月4日：縄文文化とワインに触れる旅（山梨県）

栗山昌子さんのご提案で日本でも有数の縄文文化の里を見学し、日本のワインの故郷を訪ねて、先人の暮らしや知恵、そして美しい自然触れながらのバスツアーを楽しみました。山梨県と共に縄文文化を大切に守っておられる会員の塚本俊彦さん、レイコさんご夫妻の多大なご協力を得ての開催で、改めて日本史を再発見する素晴らしいツアーとなりました。



## 会員情報

今後、このコーナーでは会員の皆さまが、貢献され開催、運営される【セミナー】、【イベント】、【奉仕活動】等を取り上げていきますのでご連絡下さい。但し、物販等、営業活動主体の情報はご遠慮下さい。

日本賢人会議所

## 第1期(平成26年度)イベント

### 平成26年9月4日: 設立記念イベント

設立総会終了後、顧問の津川雅彦さんによる「日本文化の継承」講演、柴田(市川)美保子さんの「舞と天語り」(舞は浅野瑞穂氏)、西館好子さんによる「懐かしい日本の歌」(ピアノは秋満義孝氏)と3部に亘る多彩なイベントを心豊かに楽しんでいただきました。

### 平成26年11月4日: 認知症予防と食の楽しみ

順天堂大学白澤卓二教授による認知症予防についてのお話と、長野美根さん監修のアンチエイジングに関わるランチメニューを楽しみました。「125歳 賢人・健康倶楽部(仮称)」への発展的取り組みが期待されます。

### 平成27年1月9日: 新年祝賀会「新春はなやかコンサート」

「寺院でオペラ!!」という賢人会議所ならではの趣向で、坂本和彦さんの楽しい語りと若手女性音楽家の皆様による素晴らしい音と時を共有いたしました。日本の音楽家への支援の必要性を痛感する機会ともなり、賢人会議所としてひとつの課題となりました。

### 平成27年2月7日: 「天語り」市川森一 古事記の公演

設立記念イベントでも一部公演されましたが、柴田(市川)美保子さんによる古事記のドラマチックな神話絵巻を、伊佐裕さんの伊佐ホームズギャラリー(駒沢大学駅最寄)で、色彩豊かな映像を背景に、柴田さんの素晴らしい語りと共に堪能いたしました。2020年東京オリンピックの開会式の一部を日本が誇る神話『古事記』のパフォーマンスで構成しようという動きがあるそうです。





## セミナー・講演

### 平成27年3月9日：第1回定例セミナー『安倍政権はどこへ向かう～権力の深層』

第1回日本賢人会議所主催定例セミナーが3月9日に開催されました。会員でマスコミの第1線で活躍されたジャーナリスト泉宏さんから会員限定ならではのお話を伺いました。会場の日本賢人会議所事務所隣接の会議室いっぱいの20名の参加を得ました。

### 平成27年4月15日：第2回定例セミナー『卵子老化と少子化対策』

第2回は多子化政策提言委員会との連携で、出産ジャーナリスト河合蘭氏をお迎えし、卵子の全ては胎児期に約700万個作られ、誕生時には約半数となり、それ以降も減り続け、質も変化するとのショッキングなお話と共に、若い年齢からの出産の必要性を学校教育で教えるべきであり、特に30代、40代出産への正しい知識の普及、さらに若い夫婦に対する経済的支援の必要性など示唆に富んだお話を頂きました。

### 平成27年5月25日：第3回定例セミナー『移民定住による多子化問題』

第2回に続き、多子化政策提言委員会との連携で、移民政策研究所

[次ページに続く](#)

日本賢人会議所

## 第1期(平成26年度)委員会・研究会

### 平成27年2月28日：10:30～13:00 林業から、50年後の日本を考える会

椎野潤さんの提案を受け、我が国の林業の現状を憂慮し、貴重な林業資源の活用に取り組んでいる20～30代の若い女性たち「林業女子会@東京」の活動を支援するために、第一回意見交換会を開催致しました。会場は当会の武藤明さんの協力を得て台東区のプラズ入谷で70名強の参加を得ました。森林の整備から国産材の活用促進、牽いては輸出産業化へと好循環をもたらし、水産業にも良い影響を与える等、日本の将来が50年のスパンで考察され、来場者は一様に感動を受け、林業女子会への支援の声が広がりました。

### 平成27年2月28日：14:00～16:00 拡大事業推進企画委員会

渡邊信委員長の司会進行で活発な意見が出ました。今回は、「多子化政策への提言活動」に話題が集中しました。当の間この委員会は様々な事業やプロジェクトの構想、アイデア等について意見交換する場として実施する予定です。日本賢人会議所で何か取り組んでみたいと思っておられる方は大歓迎です。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

### 平成27年3月21日：委員会 「多子化政策への提言活動」第1回会合

佐伯浩明さんの提唱で、少子化対策を超えてより積極的な意味合いを込めて多子化の実現の為に月2回の専門分野の講師を交えた勉強会を開催し、9月を目標に具体的な政策提言にまとめる取り組みです。第1回目の勉強会では、出席者それぞれがテーマを担当し、提言へ向けて取り組むことに決め、定例セミナーのテーマとして開催することを決めました。

今後の委員会としては、「賢人・健康125歳倶楽部（仮称）」などが提案されています。

所長坂中英徳氏をお迎えし積極的に移民を受入れ、国籍比率もバランスよく定住を進めるべきとの提言をお聞きしました。反論・異論もあるテーマですが、日本としても引き続き議論して行くべき課題です。

## 支援活動

### 宗派を超えてお寺を心の拠り所にする会（実践中）

新年会を大田区久が原の日蓮宗安詳寺で開催しました。新年会の中心企画「お寺でオペラ」は、とてもユニークです。これを進めたのは天台宗の若手僧侶で、既に昨年より矢切の浄土宗回向院市川別院で「お寺カフェ」を運営しています。そこでイベントとして、新年会と同様に会員で指揮者の坂本和彦さんが7回に亘りコンサートを提供し、会員の皆様も多数参加されました。寺院を誰もが気軽に立ち寄れる開かれた場所へと転換することを目指しています。



### ※林業から50年後の日本を考える会（実践中・既出）

### ※日本の若手音楽家を支援する会（実践中・既出）

以上、喫緊に開催、或いは提起されたテーマを順不同で取り上げました。皆様のご参加又新たなテーマのご提言をお待ちしています。

## 委員会活動報告

### 平成27年5月29日： 「文化・芸術・教育委員会」第1回会合

栗山昌子委員長から「この委員会では、今迄実施してきた【古事記と縄文文化】で日本の誇るべき文化遺産を守りつつ世界に発信したい。また、オペラの若い演奏家たちを支援する事も継続したい」との提案があった。



日本賢人会議所は古事記を再発見します

古事記をオリンピックのオープニングのセレモニーにすることも良いが、新たな提案として南太平洋の島々の子供たちを東京オリンピックに招待する。宿泊はお寺を使うなども考える。また5年後を目指すだけでなく、今から少しずつ、南太平洋の島の子供たちを招待してムーブメント化する。その招待にかかる費用は各種チャリティーの開催で集める。これを当面の日本賢人会議所の文化・芸術・教育委員会の目標とし權より始めることとした。 [次頁に続く](#)



日本賢人会議所は南太平洋に学びます

## 関連サイトとのリンク

当会議所がリンクしている関連団体・組織サイトをご紹介します。是非当会議所ホームページからご覧ください。リンクご希望のサイトもご連絡下さい。

- ・プラチナギルド
- ・九州賢人会議所

## 事務所にお立ち寄りを

東京都港区芝浦2-14-13加瀬ビル  
161:6階  
TEL:03-6809-4950  
FAX:03-6809-4951  
nippon@kenjinkaigisho.com



JR田町駅からの順路は：

- 1) JR田町駅の東口を出て、一つ目の信号のある交差点を渡り、川を渡って、二つ目となる信号のない交差点を左へ曲がり「かすみ通り」を進みます。
- 2) 200m程進んで「かすみはし」を渡り、5差路の一番右の道に入り、40mほど進んだ和食店「たくみ」の左折路に入ります。
- 3) 30m程進んだ左側に自販機があり、そこを入ったビルが「加瀬ビル161」（旧第3米田ビル）で、その6階となります。
- 4) 最寄りの目印はボーリング場「田町ハイレーン」（休業中）で、加瀬ビル161は、その裏通りです。  
都営三田線・浅草線三田駅から徒歩5～8分程度です。

月曜セミナーの推進策として一年分のスケジュールを事前に公表しておく事で、会員・会員外の参加を促進する。同時に多子化推進プロジェクトもそうだが、講師と魅力的な演題を会報などでしっかり周知させること。テーマとしては会員のための食育など五感に訴えるものとするなどの提案があった。



日本賢人会議所は縄文モダンを発信します

日本賢人会議所のメンバーの中には豊富な職歴や経験をお持ちの方が多く、それが会員に周知されていない。会報で会員紹介をする案があるが、人の紹介だと履歴書みたいで人物像が見えないので、志を持ってそのことに邁進している姿を紹介する。候補として、縄文文化に情熱を燃やす会員の塚本レイ子さんや古事記のオペラを目指す市川美保子さんと坂本和彦さん、さらに84歳でもハリウッドで活躍中の会員であるカオリ・ナラ・ターナーさんなどの推薦があった。

この委員会としては、文化・芸術として「古事記」および「縄文」、教育として「南太平洋の子供達の日本への招待」の3つを掲げて活動をしていくことが合意された。

## 編集後記



日本賢人会議所のコミュニケーションツールとして、これまでpre1号からpre3号までを発行しましたが、第1回賢人式に合わせ、ここから本格的に会報を発行することになりました。この会報で取り上げて欲しい記事、あるいは企画などがありましたら、ぜひお知らせください。（広報）

平成27年6月9日公開イベント  
出演者プロフィール

**講演「天皇家の執事が見た陛下の本当のお姿」  
渡邊 允（わたなべまこと）**

式部官長を経て平成8年から平成19年まで、「天皇家の執事」たる侍従長。曾祖父の渡邊千秋氏は明治天皇崩御時の宮内大臣。父は「昭和天皇最後のご学友」として知られる渡邊昭氏。「畏れ多いことながら」としつつ、両陛下の普段のお姿を広く知ってもらうため、退任後は講演、執筆に携わる。外務省では中近東アフリカ局長、駐ヨルダン大使、儀典長などを歴任した。

**「クラシックコンサート」**

**清水 理恵（しみずりえ）： ソプラノ**

東京音楽大学オペラコース卒業、同大学同コース研究生修了。2003年、2011年イタリア・ボローニャに短期留学。2005年第41回日伊声楽コンクール第2位。2009年第7回東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞を受賞。2015年7月、藤原歌劇団公演「ランスへの旅」フォルヴィル役に出演予定。2015年9月、東京文化会館小ホールにてファースト・リサイタルを開催予定。藤原歌劇団団員。

**中桐 かなえ（なかぎりかなえ）： ソプラノ**

昭和音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第32期修了。声楽を大森友美子、五十嵐郁子、石上朋美の各氏に師事。大学在学中、昭和音楽大学学長賞声楽コンクールにおいて優秀賞(第1位)を受賞、副賞として短期イタリア研修に参加。2014年アルテリッカしんゆり藤原歌劇団「魔笛」にて童子1で出演。藤原歌劇団準団員

**福田 ひろみ（ふくだひろみ）： ヴァイオリン**

東京音楽大学特別特待奨学生にて4年在学中。3歳よりヴァイオリンを始める。2005年第59回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位。2008年第17回ABC新人オーディション最年少にて合格、及びABC新人コンサートに出演。2012年いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞受賞。2014年第16回日本演奏家コンクール第1位及びグランプリ受賞。現在、原田幸一郎 小栗まち絵 漆原朝子氏に師事。

**加藤 紗耶香（かとうさやか）： ピアノ**

東京音楽大学器楽専攻（ピアノ演奏家コース）卒業。現在、同大学大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域（伴奏）2年次に在学中。3歳よりピアノを始める。第9回PIARAピアノコンクール全国大会年齢無制限部門最優秀賞（第1位）。第14回ショパン国際ピアノコンクールinASIAアジア大会一般部門銅賞。第29回及川音楽事務所新人オーディション 最優秀新人賞（第1位）などの受賞歴を持つ。現在、ピアノソロを菊地麗子、伴奏法を土田英介、水谷真理子、伊賀あゆみ、和声を山洞智、室内楽を浦川宜也、竹中勇人の各氏に師事している。

**坂本 和彦（さかもとかずひこ）： コンサートご案内**

東京音楽大学指揮科卒業。三石精一氏に師事。在学中、学長の推薦により、チューリッヒ音楽院へ留学。F・ライトナー、F・エーゲルマン両氏に師事。ライトナー氏の推薦を受け、チューリッヒ歌劇場の指揮研究員を経て副指揮者となる。東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団等のオーケストラをはじめ、アマチュアオーケストラ等にも数多く客演。2009年11月、天皇陛下御即位20年、御成婚50年をお祝いする奉祝曲「太陽の国」(EXILE歌唱)の御前演奏の指揮者を務めた。日本オペラ振興会歌手育成部講師および指揮者、東京音楽大学および大学院、同付属高校講師。日本指揮者協会幹事。公益法人として未来文化財団音楽監督。

**市川 美保子（柴田美保子）： 総司会**

女優。大阪市出身。1964年NHK連続ドラマ「チコちゃん日記」で主役デビュー。その後伊丹十三監督作品「マルサの女2」「静かな生活」（等5作品）など映画やテレビ・舞台で活躍。1981年から6年半に渡りテレビ朝日「モーニングショー」の司会を務める。2012年9月「古事記編纂1300年イベント・神々の宿の島岐・響きあう魂たち」、2013年1月古事記絵巻「東儀秀樹と賢者たち」、2013年5月「絵と音と舞のコンサート～出雲に捧ぐ」、2013年11月「ドラマティック古事記」宮崎公演、2014年7月同京都公演、2015年1月同II宮崎公演、2015年3月1同福岡公演に各々語り部役として出演。NHK大河ドラマなどヒット作を数多く手掛け、古事記のドラマ化をライフワークとした脚本家・故市川森一夫人。

